

府中一新、日本一新。

府中の元気

フリーダムネット

発行：市民フォーラム 〒183-0051 府中市栄町 2-14-21

No.41 2010.10



しっかりチェック、市民に誠実な市政を

天下り団体の心配よりも、市民の生活を ～駅前駐輪場の料金が、なぜ 2000 円になるのか～（9 月議会報告）

■駐輪場～いつになったら府中市に戻ってくるのか？

駐輪場については、3 年前にも質問しました。無料だった分倍河原北の駐輪場が屋根をつけただけで月額 2000 円になってしまったのか、納得ができなかったからです。

そこには自転車駐車場整備センターという天下り団体が絡んでいました。そのしくみは、まずセンターが府中市のために駐輪場を建ててくれます。そしてセンターが住民から料金を徴収し、駐輪場を運営し、建設費を償還します。そして **10 年経ったら市に無償で譲渡してくれる**という、一見、市が非常に得する話でした。建物をただでもらえれば料金を下げることが可能でしょう。

しかし実際は、この方式が始まってから 30 年以上が経ちますが、一度も無償譲渡が行われたことがありません。その理由を、市は 3 年前の答弁では、次のように述べています。

- ①償還が終わっていない施設を受ける場合、市に返済負担が生じる。
- ②黒字施設のみ受ければセンターの運営を圧迫する

センターは、常勤役員 6 人中 5 人が国交省からの天下りで、宝くじや競輪のお金をもとに事業を行っている、典型的な天下り団体です。**そんな団体の運営を心配するよりも、市民の利益を優先**しなければおかしいと、この 3 年間言い続けてきた結果、今回の議会で答弁が変わりました。

杉村 協定の中で、施設の償却は利用料金を徴収するセンターの責任ではないのか？

答弁 償還が終わらない場合であっても、**償還はセンターの責任**である。

杉村 そうだとすれば、他に赤字の施設があろうと、黒字の施設について府中市が無償譲渡を受けてもいいはずだが、センターがそのことに難色を示しているのか？

答弁 快く承諾いただけることになっている。

杉村 黒字で、今年度に協定期間が終了する多磨霊園駅北の駐輪場をどうするか？

答弁 **譲渡に向け、具体的な協議を進める。**

杉村 譲渡を受けた場合、収益をどう扱うか？

答弁 駐輪場の環境整備に活用したい。

杉村 私は**市民に還元するのが筋**だと思う。例えば、分倍河原北には 2 か所あるが、文化センターの地下の方は遠くて稼働率も低い。料金を半額にしてはどうか？

答弁 **センターに料金の見直しを要望する。**

■面倒がらずに、一步踏み込む意識を

3 年間、しつこく追及してきましたが、ようやく方向を変えることができました。住民の立場にたつことのできる優秀な若い職員が担当になったことも大きな要因だったと思います。

面倒がらずに、市としての当然の交渉をすれば、物事は変わるのです。住民の切実な想いを誠実に受け止め、**一步踏み込んでやってみようという意識が職員にあれば、それができます。**

■指定管理者制度～公募原則はどうなったか？

公共施設を民間団体が運営（指定管理）できるしくみが**指定管理者制度**です。この制度下では、委託はなく、市直営か指定管理かのどちらかを選択しなければなりません。そして指定管理の場合は原則、公募によるとされます。

府中市でも、5年前に市内14の公共施設で指定管理者制度が導入されました。初めてのことで、これまで委託してきた団体を指定するが、5年後には公募を原則とするとしていました。しかし、今回の更新で14すべての施設が非公募という方向です。

杉村 指定管理者の更新時期を迎えるが、次期の選定にあたって公募についての市の考え方をあらためて確認したい。

答弁 条例で、公募を原則とし、ただし書きで公募によらない選定方法を定めている。

杉村 今回更新する14の施設について、公募の状況はどうなっているか？

答弁 すべて公募によらない選定の予定である。

杉村 **公募が原則だが、14施設すべてが非公募だ**という。非常に違和感を感じる。

答弁 条例上、**公募と非公募の二通り**の方法が定められており、慎重に判断した結果だ。

杉村 **びっくりです。原則と例外というのは普通は同列ではないはず**。書いてあることと考えていることがかけ離れている。

私は文化振興財団や駐車場公社がダメだとは思わない。ただ仮に継続するにしても、公募の手続きは踏まなければ活性化しないし、信用もされにくい。

■ちゅうバス～駅から1km圏内は「交通不便」でないのか？

府中市では、ちゅうバスの整備により「交通不便地域」はほぼ解消されていますが、一部不便だという声が残っています。

杉村 交通不便地域の定義と根拠は？

答弁 バス停から300m圏外および鉄道駅から1km圏外の地域であり、パーソナルマップ調査などを基に「抵抗なく徒歩で歩ける距離」とされている。

つまり、**バス停から300m圏外でも、駅から1km圏内にある地域**は、交通不便ではないということで、駅まで歩けと言っているに等しい。一般ならよいが、高齢者や障害者にとってこの定義は妥当でしょうか。

杉村 その調査は高齢者を対象としたものか？

答弁 高齢者に特化したものではない。

杉村 そもそも高齢者など交通弱者への配慮が、ちゅうバスの設置目的のうちの大きな柱ではなかったか？

答弁 重要な目的の一つである。

杉村 つまり、**一般の人を対象にした調査をもとにして、高齢者などへの配慮を目的としたちゅうバスに関する定義**をしている。

これらの地域の住民が現実に交通不便を感じていることを市はどう考えるのか。

答弁 不便を感じているが、いわゆる現実問題として、**すべてを担うことは大変難しい**。

杉村 交通不便地域を見直すべきでは？

答弁 社会の変化に応じて見直すべきと思うので、**協議会の議題としていきたい**。

府中市議会議員

杉村 康之



【プロフィール】 ◆昭和44(1969)年2月19日生(41才) ◆日鋼町に育ち、栄町在住 ◆府中一小、府中四中、国立高校、青学大卒 ◆大学卒業後、日本新党の活動に参加。山田ひろし衆議院議員(前杉並区長)の公設秘書を経て、平成11年、府中市議選に無所属で初挑戦(1318票) ◆平成15年、自由党で初当選(2318票)。平成19年、民主党から2期目当選(3411票) ◆現在、市議会**文教委員長**、民主党府中市支部**幹事長** ◆尾崎行雄記念財団主催の**罌堂塾**・1期生。**小沢一郎政治塾**・5期生。

【趣味】 ◆映画・読書・野球・バンド・合唱 **【好きな作家】** ◆司馬遼太郎・塩野七生

【好きな人物】 ◆織田信長・高杉晋作・白洲次郎 **【好きな言葉】** ◆「Buck Stops Here(責任は自分がとる)」

【好きなアーティスト】 ◆モーツァルト、プッチーニ、中丸三千繪 **【家族】** ◆妻、長男(10才)、長女(5才)

ご意見ご要望をお寄せ下さい。ご支援も宜しくお願ひします。

Email ◆ysugimura@ac.auone-net.jp / URL ◆http://www.fuchu21.gn.to/

TEL ◆042-335-0097 / FAX ◆042-361-9856

★★★携帯サイトを開設しました★★★ ◆http://sugimoba.com/

